

読響ハートフル・コンサート 倉敷

～読売日本交響楽団のメンバーによる弦楽四重奏～



【日程】 2024年6月4日(火) 14:00開演～約60分

【会場】 倉敷中央病院 セントラルパーラー(1F売店前)

【プログラム】

- ♪モーツァルト／アイネ・クライネ・ナハトムジークから第1楽章
- ♪ヴィヴァルディ／「四季」から“春”第1楽章
- ♪エルガー／愛の挨拶
- ♪サン＝サーンス／組曲「動物の謝肉祭」から“白鳥”
- ♪久石譲／映画「となりのトトロ」から“さんぽ”
- ♪ハーライン／映画「ピノキオ」から“星に願いを”
- ♪葉加瀬太郎／エトピリカ
- ♪モンティ／チャルダッシュ
- ♪見岳章／川の流れのように

(曲目・出演者は変更する可能性があります。)

出演メンバー

ヴァイオリン
島田玲奈



ヴァイオリン
大澤理菜子



ヴィオラ
富田大輔



チェロ
唐沢安岐奈

■公益財団法人「正力厚生会」(<https://shourikikouseikai.or.jp/>)とは■

「がん患者やその家族への支援」を事業の中心に据えている正力厚生会は、読売新聞東京本社からの寄付金などをもとに、「がん患者団体への助成」「医療機関への助成」などを行っています。患者団体への助成では、延べ442団体に助成金を交付し、さまざまな活動に役立ててもらっています。

■「読響ハートフルコンサート」■

正力厚生会は2007年度から、公益財団法人読売日本交響楽団と共同で、がん患者の生活の質(QOL)向上の一環として、全国のがん診療連携拠点病院などで、弦楽四重奏を楽しんでもらう「読響ハートフルコンサート」を開催しています。今回の開催は通算101回目です。コンサートの模様は、開催翌日付の読売新聞に掲載されるほか、正力厚生会の公式HPでもご覧いただけます。

■公益財団法人「読売日本交響楽団」プロフィール■

読売日本交響楽団は1962年、日本のクラシック音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立されました。世界的な指揮者、ソリストとの共演で、数々の名演を実現してきました。

現在、高円宮妃久子殿下を名誉顧問にお迎えし、東京のサントリーホールや事業提携する東京芸術劇場などで充実した内容の演奏会を多数開催している。知られざる作品から親しみやすい名曲まで、クラシック音楽の魅力を皆様にお届けしています。2022年12月には文化庁芸術祭大賞を受賞しました。

このほか、社会貢献として公益財団法人「正力厚生会」のがん患者助成事業に協力する「読響ハートフルコンサート」や、小中学校での「フレンドシップ・コンサート」に取り組んでいます。地域の中規模ホールでのアンサンブル「サロン・コンサート」、アマチュアオーケストラへの支援活動など、音楽文化のすそ野拡大にも地道な努力を重ねております。詳しくは読響のホームページ <https://yomikyo.or.jp> をご覧ください。